

石巻健育会病院

症 例 概 要 40代 男性

病名：右被殻出血

入院期間：令和3年7月下旬～令和3年12月中旬

令和3年6月下旬、自衛隊での訓練中に左半身麻痺出現。A病院へ救急搬送される。頭部CTにて右被殻出血と診断され入院する。保存的加療にて出血の増大なく良好に経過したが、左麻痺残存しておりリハビリ目的にて当院入院。重度の感覚障害と麻痺を伴った症例であったが、他職種連携により歩行や日常生活動作、家事動作が自立となり、自動車運転再開や復職が可能な状態にまで回復することができた症例である。

内 容

入院時の心身機能として、意識清明、左上下肢の運動・感覚麻痺は中等度から重度で動作時に声かけや介助が必要な場面が多くあり、左手は基本動作・日常生活動作に全く参加できない状態であった。排尿は膀胱留置カテーテルでの対応となっていた。

目標として、補助具を使用下での屋内外移動自立、生活上にて左上肢の参加、自衛隊員（管制官）として職場復職できることとした。また、自宅が官舎の2階なので階段昇降も目標に掲げた。

病前、通勤や生活場面においても自動車の使用頻度が多かったため、脳卒中ドライバーのスクリーニング検査（SDSA）を実施したが、運転が行えるレベルであった。

最終的には杖と装具を使用し外での歩行や階段昇降が自立レベルとなった。また、生活上にて左手の参加も増え、日常生活動作は全て自立となった。掃除や洗濯、調理などは時間はかかるものの動作を工夫することで概ね行えるようになった。自動車運転再開については、自動車学校にて実車評価を実施し、一般的な運転能力があると評価を受ける。

退院後はしばらく母親が家事を行うとのことだが、ご本人にも積極的に参加するように指導を行った。自動車運転再開に関しては免許センターでの講習を受けるように指導し、自宅退院に至った。

7月下旬（初回） FIM運動項目22点、認知項目31点。

12月中旬（最終）FIM運動項目86点、認知項目35点。